



受けてみませんか?

検診(健診)の申し込みは済んでいますか?

がん複合検診を実施します。検診には下の表のように町の助成があり、身近な施設でお得に検診を受けることができます。がんの早期発見に大切なのは、何も症状がなくても検査を受けることです。大切な人のため、自分自身のためにも、検診を受けてみませんか。

※気になる症状がある人は医療機関を受診しましょう。

■ 検診(健診) 一覧

検診項目	対象者 (平成31年3月31日現在)	個人負担金		町補助金	
		74歳まで	75歳以上	74歳まで	75歳以上
基本健診※	30～39歳の国保加入者	1,500円		7,448円	
特定健診※	40～74歳の国保加入者	1,500円		7,448円	
健康診査	後期高齢者医療保険加入者	800円		6,858円	
胃がん検診(胃透視)	40歳以上	1,000円	500円	3,752円	4,252円
腹部超音波検診		1,000円	500円	2,564円	3,064円
肺がん検診		500円	200円	1,444円	1,744円
大腸がん(検便)		500円	200円	1,187円	1,487円
大腸がん(S状結腸内視鏡)		1,500円	500円	2,600円	3,600円
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	1,000円	500円	3,104円	3,604円
乳がん検診(触診+エコー)	30歳代の女性	1,500円		3,684円	
乳がん検診(触診+マンモグラフィ)	40歳以上の女性	1,500円	500円	3,684円～5,628円	4,684円
骨粗しょう症検診	30歳以上の女性	1,000円	300円	852円	1,552円
前立腺がん(PSA)検査	40歳以上の男性	500円	200円	1,228円	1,528円

※基本健診・特定健診受診者については、町の保健師・栄養士などから健診結果を説明して、お渡しします。

実施日程・場所など

検診実施月は9月末～10月を予定しています(S状結腸内視鏡検査は11～12月に実施予定)。検診会場は町子育て・健診センターなどを予定しています。

※基本健診は30歳代、特定健診は40歳以上の国民健康保険加入者で、ふるさと総合健診受診者(6月実施)、人間ドック申込者は対象になりません。

●問い合わせ 役場健康保険課 国保・医療係 ☎096(293)3114
健康推進係(子育て・健診センター内) ☎096(294)1075

申込時の注意点

対象者には、加入の健康保険・年齢に応じた検診の案内を郵送しています。郵送している案内には締切日を8月2日(木)までとしています。受診希望する人でまだ返送していない人は、お早めにお問い合わせください。

※受診当日に住民票が町にない人は受診できません。

予防接種はお済みですか



MR(麻しん・風しん)ワクチン(2期)と、二種混合ワクチン(ジフテリア・破傷風の対応者は、表のとおりです。対象者へは案内と予診票の個別通知をしています。

平成30年度の接種対象者 (まだ接種していない人が対象です)	
MR(麻しん・風しん)ワクチン 第2期	平成24年4月2日～平成25年4月1日 生まれの人
二種混合(ジフテリア・破傷風)ワクチン第2期	平成18年4月2日～平成19年4月1日 生まれの人

●接種期限：平成31年3月31日まで
対象者には案内と予診票を郵送済みです。早めに接種しましょう。

高齢者肺炎球菌予防ワクチン接種

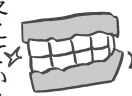
今までのこのワクチンを接種したことがない人を対象に(※)、平成30年度までの間に1人1回、定期接種の機会を設けています。対象者へは案内と申込書の個別通知をしていますので、詳しくは書類を確認してください。※過去に「ニューモバックスNP(23価肺炎球菌ワクチン)」を接種したことがある人は、費用助成の対象外です。

●対象者

- ①今年度、満65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる人。
- ②60～65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害がある人。

案内を紛失したときは、接種履歴を確認後、再発行します。子どもの予防接種の場合は母子手帳をお持ちください。

歯周病検診



歯周病は、歯肉(歯ぐき)や歯を支えている骨などにおこり、そのままにしておくと歯がぐらつき痛くてかめなくなり、歯が抜けてしまう病気です。町では、歯周病予防を目的に指定医療機関で歯周病検診を実施しています。

●対象者

- 今年度、満40歳、50歳、60歳、70歳になる人(5月末に個別に通知を送付しています)
- ※受診当日に住民票が町にない人は受診できません。

●実施期限

10月31日(水)まで

●自己負担額

1,000円

●受診に必要なもの

歯周病検診票(個別通知に同封しています) ※治療などが必要な場合は、保険証が必要になることがありますのでお持ちください。

●内容

お口の健康チェック、歯肉(歯ぐき)の検査、ブラッシング相談、結果説明など

●指定医療機関

個別通知や町のホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

マダニによる感染症に注意を

県では、主にマダニが原因のウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群」による死亡例が報告されています。マダニは野山に生息し、かまれることで発熱や嘔吐、頭痛、意識障害などが起きます。マダニはさまざまな感染症の原因であるといわれ、かまれない予防が重要です。

■マダニにかまれないために

- ①肌の露出を減らす(帽子、手袋、首にタオルを巻く、丈の長い服を着用するなど)
- ※シャツはズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れ、隙間の無いようにする。
- ②虫除け剤を使用する
- ③確認しやすいように明るい色の服を着る
- ④野外活動後は入浴し、全身を確認する
- ※作業着などは家の中に持ち込まない。

■マダニにかまれたとき

無理に引き抜こうとせず、病院(皮膚科)で処置を受けてください。数週間は体調の変化に注意する必要があります。発熱などの症状がみられた場合は再度病院で受診してください。



●マダニの特徴

体長3～5mm。低い植物の葉の裏で吸血できる動物を待ち構えています。かみ口からセメント質の分泌液を出し、硬化することで、約1週間にわたって吸血し続けることができます。